

おか
なみ

Ochanami



広報誌
vol.61

2022年1月発行

2022 WINTER
新年のご挨拶

理事長 猪木 達

標準治療が最善の治療

伊賀・名張地域初となる320列CTを導入して
予防が大事「心不全」
お薬を何で飲んでいますか？

新年のご挨拶

理事長 猪木 達

新年あけましておめでとうございます。

皆様には健やかに新春をお迎えのことと、ここよりお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大し、延べ2億6千万人以上の感染と520万人以上の死亡が報告されました。日本でも全国的に何度も緊急事態宣言が出されました。ワクチン接種や新しい治療薬の承認、受入れ病床の増床等で治療対応策は整備されつつありますが、新たな変異株の出現、感染の増加に今後の対応が懸念されます。日常生活におけるマスク着用・手指消毒・フィジカルディスタンスの確保を含めた3密防止等の感染基本対策が最も大切なことは言うまでもありません。感染第6波の発生を懸念しつつ、当院では必要な感染対策を継続していきますので、引き続き皆様のご理解とご協力を願っています。

さて、当院では新病院への移転を計画し、工事が順調に進んでおります。伊賀市岡波で猪木病院として地域医療を開始、より多くの住民の健康と幸せを守ろうとの創業者の思いにより、大正11年2月19日に現在の伊賀市上野桑町へ岡波の地名をとり岡波病院と改名創業して今年で100年を迎えます。猪木

病院が創業した明治30年から数えると125年となります。岡波看護専門学校は、産婆看護婦養成所として開設された明治39年から116年となります。建物は木造建築からコンクリート建築に変わり、新病院では地震に対応すべく免震構造を取り入れました。効率的診療が出来るように各部門を配置し、受診時の導線が分かりやすいレイアウトになっております。手狭であった患者様用駐車場も十分確保しました。

現在、18診療科・6専門外来にて診療を行い、全国標準での病院の質の評価を受けるために、日本医療機能評価機構から連続4回の認定を得ました。今後も医療の質・機能の維持向上に努めてまいります。

職員の努力もさることながら、伊賀地域の皆様のご愛顧を賜り、医療関係者のご支援ご協力により明治・大正・昭和・平成・令和と歩んできました。場所を変え新病院で新たなスタートを切りますが、引き継ぐべき伝統は守りつつ、皆様から“岡波さん”と愛される心温かい病院であり続けたいと念願しています。

最後に、皆様にとりまして幸多い年になりますよう祈念するとともに、今年もご支援とご助言をお願いしまして年頭のご挨拶といたします。



猪木病院時代(明治30年頃)



移転当時の岡波病院(大正11年)



新病院完成予想図(令和4年)

● 岡波総合病院の理念 ●

人々の健康と幸せのために、『人間としての愛』の精神をもって心からの医療と福祉を提供していきます。

● 岡波総合病院の基本方針 ●

- 私達は、「至誠・注意・満足」の院是の基に、患者様と信頼を共有できるように心を通じた医療サービスを実践いたします。
- 私達は、医療水準の日々向上をめざし、高度適正な医療を実践いたします。
- 私達は、患者様に心温まる細心の看護と介護の提供を実践いたします。
- 私達は、地域の医療福祉機関との連携を密接にとり、患者様すべてに公正な医療の提供とプライバシー保護を実践いたします。

● 患者様の権利 ●

- 患者様は、だれでも良質な医療を公平に受けることができます。
- 患者様は、病気・検査・治療などについて理解しやすい言葉や方法で十分な説明と情報をうけることができます。
- 患者様は、十分な説明と情報提供を基に治療方法などを自らの意思で選択することができます。また別の医師の意見を求めるこもできます。
- 患者様は、自分の診療記録の開示を所定の手続きを経て求めることができます。
- 患者様は、個人の情報やプライバシーについて保護されます。
- 患者様は、健全で良質な医療水準を確保するため医療サービスについて提言することができます。

標準治療が最善の治療

心臓血管外科部長 山本 芳央

皆様、明けましておめでとうございます。みなさま様々な場所で様々なお正月を迎えたことと思います。私は、以前には病院の当直室や手術室で新年を迎えることが多かったのですが最近自宅で正月を過ごすことが増えました。さて今年がどうなったか執筆時点では知る由もありませんが患者さんとともに良いお正月が迎えられていればいいなと期待しております。今年が皆様にとって良い年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

突然ですが、皆様は一番いい治療というとどういふものを想像されるでしょうか。新規開発された薬を使った医療や切らずに直せるようになるカテーテルの治療、放射線や重粒子線を用いた治療やIPS細胞を使った移植医療など多くの新しい治療の情報があふれています。今まで治せなかつた病気が治せたり、手術が必要なくなったりといろいろ期待が膨らみます。マスコミでもそういう治療が話題に取り上げられる傾向にあるようです。

これらの治療を多くの患者さんに最善の治療と考えていいでしょうか。確かに、電気製品や自動車などの工業製品であれば新製品が性能的に優れています。しかし、高価な製品が使いやすかったりすることはよく経験することかもしれません。しかし、治療に関してはそれほど単純にいかないことが多いです。薬や道具を開発して製品化した場合、その時点で短期的な効果があることは通常わかっているのですが、その後には数十年も生きていきます。治療はしたけれども数十年後に寿命が伸びていなかつたとか、障害が出てきたなどという結果につながる可能性が常に存在することになってしまいます。例えば心臓外科の分野でも、今までは手術でおなかを切って治していた動脈瘤の治療が足の付け根からの血管内治療で治せるようになってきました。

ところが患者さんの血管の状態によっては8年くらいで再治療が必要になる可能性が高いことが治療開始から10年くらい経つてわかつてきました。一部の患者さんにとっては手術で治しておいた方が良かったという結果になってしまいます。当院では最初から血管内治療を全ての患者さんに勧めていた訳ではありませんので幸いにもそういうタイプの方はほとんどおられませんでした。

これらのこと踏まえ、最近ではそれぞれの病気毎にガイドラインというものが発表され、標準治療がほぼ決まってきています。何千人、何万人という患者さんの治療のデータを集めて、数年から場合によつては十年以上も経過を見て効果のあった薬や治療方法を標準治療としているのです。それも、常に最新のデータが発表されるのでよりよい治療に逐次アップデートされていると言つても過言ではないでしょう。当然、何年もデータを積み重ねた治療が評価されるわけですからテレビで取り上げられるわけでも無いですし、目新しさも無いかもしれません。しかし、標準治療が現時点で長期的に一番いいことが分かっている最善の治療ということになります。

それに適した最善の治療である標準治療を患者さん一人一人に合わせて提供することが岡波総合病院の使命と私は考えています。テレビで取り上げられるような特殊な治療を当院で全て提供しているわけではありませんが、標準治療を標準以上の技術と知識により安全に提供することを目指してスタッフ一丸となって努力し続けています。岡波総合病院の医療が皆様の生活に少しでも貢献できましたら大変うれしく思います。困られていることがありますたら是非当院にご相談ください。

新任医師



いり あやか
入 彩加 医師

消化器内科
令和3年10月1日 採用

10月から勤務させていただくことになりました医師5年目の入です。群馬大学を卒業してから大阪で研修を行いました。微力ながら、伊賀の医療に貢献できるよう頑張りますので宜しくお願いします。

採用医師

脳神経外科 宮座 静香 医師 令和4年1月1日付

退職医師

脳神経外科 小谷 明平 医師 令和3年12月31日付
内 科 日高正二朗 医師 令和3年12月31日付



伊賀・名張地域初となる320列CTを導入して

放射線部技師長 界外 忠之

当院では、2021年10月に64列CTの後継機として、キャノンメディカルシステムズの320列CT「Aquilion ONE/PRISM Edition」を導入いたしました。

この装置の最大の特徴は何と言っても、X線を照射するX線管球が1回転0.35秒という超高速で患者様の身体の周りを回転することと、患者様の身体を通り抜けてきたX線を受ける検出器が面検出器と呼ばれる160mmという広範囲を一度に受ける面構造であることです。つまり160mmの範囲がわずか1秒弱、1回転で撮影できるのです。

この技術の最大の恩恵を受けるのは動いている被写体です。動きを止めることのできない心臓や救急で意識の無い患者様、泣きじゃくる小児の撮影でもわずか1回転で撮影できるため、動いていても正に静止しているかのようにブレの無い鮮明な画像が得られます。

1回転で検査が終了するということは、患者様1人につかむ検査時間が少なくなるということであり、患者様の検査待ち時間の短縮や1日の検査可能件数の増加が見込めることから、ひいては患者サービスにつながるものと考えています。

さらに近々には「AiCE」という人工知能(AI)を用いた画像再構成技術を実装することとなっており、更なるノイズの軽減による画質の向上、少ないX線量でも高画質が得られることによる放射線被ばく線量の低減、高性能GPUによる画像表示の高速化など今までに経験したことの無い利便性と画像に期待をしています。

岡波総合病院放射線部は常に最新の機器を導入し、最高の撮影技術と共に最良の医療を地域の患者様に提供することを心掛けています。



労働衛生活動の実施について

衛生委員会 山岡 知史

当法人衛生委員会では、職員を対象に明るく風通しのよい職場環境作りを目的とした労働衛生スローガンの公募活動を行っています。日常の職場環境における気付きをスローガンにすることで、各職員が働きやすく、活気に満ちた職場作りに日々努力しています。

職員からいただいた多数の応募作品は、衛生委員会にて選定を行い、選出した作品を衛生委員により毎月ポスター作成し、各部署内に掲示し周知活動に努めています。また、今年度、選出した作品を三重労働局伊賀市労働基準協会主催の労働衛生標語募集にも応募したところ、事務局の西千夏さんの作品「窓開け換気で健康を守ろう 心の換気で笑顔を守ろう」が見事優秀賞に選ばれ、令和3年11月19日の三重労働局主催の安全衛生大会において表彰されました。職員の皆さんの活動が評価されたことは大変喜ばしく思います。



この度はこのような賞をいただき大変光栄です。職場の風通しを良くすることで、心身共に健康を保てるのではないかと思いこの標語を作成しました。誰もが明るく相談しやすい職場になるよう心掛けたいと思います。本当にありがとうございました。

事務局 西 千夏



専門・認定看護師シリーズ 予防が大事「心不全」

もし癌だと告知されたらどう思いますか。命の危険を感じ、落ち込み動搖し、余生の心配をするのではないかでしょうか。では、心不全と告知された場合はどうでしょう。癌より軽視されるのではないかでしょうか。実際、癌全体より心不全の方が予後は悪い病気なんです。悪いと脅かしたい訳ではありません。心臓病の進み方を知り、早め早めの予防行動が大切だとお伝えしたい。そこで「心不全は4回予防できる」ことを知ってもらいたいと思います。心臓病の多くは、運動不足や喫煙、高血圧、糖尿病、脂質異常症等の生活習慣病が、心筋梗塞や弁膜症といった心臓病を招き、やがて末期状態である心不全へと進んでいきます。ここに4回の予防時期があります。

- ①生活習慣病にならない ②心臓病を起こさない
- ③心臓病から心不全に進めない ④心不全を繰り返さない



元気高齢者インタビュー

ーどんなきっかけでこのお仕事を知りましたか？

以前、地域の集まりで岡波さんの出前講座が来ていただき、そのときに元気高齢者募集の案内を聞いて知りました。

子供たちも独立していましたし、主人と2人の生活の中ではなか出来ることはないかなって考えているところでした。それと、亡くなった母が以前に第2おかなみでお世話になり、介護現場のことをもっと知りたいという気持ちがあったんです。

ーお仕事をはじめてみて、どう感じましたか？

1日3時間というのは、毎日の生活のリズムにとってちょうど良く、家でダラダラしなくなりました(笑)。それと驚いたのは、介護の資格がなくても、お手伝いができることがたくさんあるってことです。

ーお仕事の内容は？

利用者の手芸の準備やお手伝い、飲み物の提供、利用後の清掃などです。利用者さんからの訴えや希望を聞いて対応したり、内容によってスタッフに伝えたりしています。

ーやりがいに感じることはどんなことですか？

喜んでくださる利用者さんに対応しながら、自分も元気になっていけるし、さりげない声かけにも温かみを意識してやっています。

ーお仕事で気をつけていることは？

仕事に入る前にその日その日の利用者の状態をたずね

慢性心不全看護認定看護師 林 愛希仁

この4つです。それぞれの段階で先へ進めない予防行動をとることが重要で、個々の病気に対する治療に加えて、薬物療法と運動療法が有効となります。そんなの当たり前と思われるかもしれません、当たり前を続ける事は結構難しい。薬はついつい飲み忘れることもありますし、尿が増えるのは大変と利尿剤を止めたくなります。運動なんて自分で出来ると思うかもしれません、運動強度は強いと心臓に負担となり、弱いと効果は減弱します。特に心臓病の人は無理の無い範囲で動こうとするので運動強度は弱まりがちです。そして、見た目は普段通りだからと周囲の人の理解や協力が得られにくいです。その様な心臓病の方々の暮らしを維持し続ける為、当院では運動はもちろん、些細な相談事まで対応する場として、包括的心臓リハビリテーションを実施しており、私もその一員として活動しております。是非、お気軽にリハビリテーション室までご相談ください。



令和2年3月から老健おかなみで活躍している世古サエ子さんにインタビューしました。

たり、「知ったふり」をしないで、わからないことは必ずスタッフに尋ねることを基本にしています。あくまでもお手伝いですから(ケアワーカーです)。

ーご家族や周囲の方々からは、どんな風に言われていますか？

友人たちは、「あなたにとって天職だね」って、家族からは「お母さんに合った仕事だね」って言ってくれます。

ーこれからもお元気に働き続けていただきたいです。

働いてるって感じはしないんですよ。自分も利用者さんと同じように、良い時間を過ごせてるっていう感じなんです。



いずれ誰でも介護が必要になります。誰かのお世話になると思います。母親は、口癖のように「いつかはみんな通る道」っていつも言っていました。その言葉を忘れずにこれからも「お手伝い」をつづけていきたいです。

畿内会老健3施設では、
元気な高齢者の方で介護周辺業務として
お手伝いいただける方を募集しています。

週2~3回、1日2~3時間でも結構です。お気軽にご相談ください。

【お問い合わせ先】岡波総合病院人事課 ☎0595-21-3135



介護老人保健施設における 褥瘡(床ずれ)予防について

介護老人保健施設おかなみ 横山 祐子

介護老人保健施設(老健)では、病院を退院したあと自宅へ帰るための準備期間として、利用者に応じた目標と計画をたて、医療・看護・介護・リハビリテーション(リハビリ)・食事を提供しています。床ずれ予防に対して、①活発な活動、②皮膚の清潔と保湿、③栄養などに焦点をあてて取り組んでいます。

活動では、リハビリ・体操のほか、手芸・音楽療法など、日常生活動作の向上につながるように努めています。楽しみながら日常生活を過ごすことで、利用者の意欲が向上し、自分自身でできることができ続けるように関わっています。麻痺や痩せ型などの床ずれができやすい場合は、多職種が協力して利用者とともに運動や動作の練習に取り組んでいます。

清潔(入浴)と保湿では、皮膚が薄く乾燥しているが多い高齢者のため、日頃より保湿剤や腕のカバー・足のカバーを使用しています。

栄養については、口の中の観察をし、歯の不具合や、飲み物をムセずに飲み込めるか確認し、食べやすい大きさや硬さ、嗜好に応じたものを提供し、食欲をあげる工夫を

行なっています。

床ずれは普段からの予防が大切です。自宅に帰っても、骨の出っ張ったところ(肩・かかと・お尻)などを、入浴の時・トイレ介助の時に、皮膚を観察してみてください。



ご利用者の骨折・転倒を減らすために

介護老人保健施設第2おかなみ 作業療法士 岩瀬 俊樹

厚生労働省によると、高齢者に介護が必要となる原因の第4位に「骨折・転倒」が挙げられています。また別の報告では「転倒・転落・滑落」は介護施設内で起こる事故の65%を占めています。当施設においても転倒事故が最も多く、中には骨折に至ってしまったケースも見られます。ご利用者の動きに素早く対応できるようにセンサーを使用し、もしもの為に厚いマットをベッドの傍に備えていても、事故は起こってしまいました。

では何故転倒は起こるのでしょうか?転倒の原因是、内的要因と外的要因に分けて考えることができます。内的要因とは、足腰の弱り、視覚の低下、精神状態、薬剤や病気の影響など高齢者自身に何らかの要因がある場合です。外的要因は外部環境が要因になるケースで、例えば適切に物が配置されていない、床が滑りやすいなどが挙げられます。外的

要因は内的要因よりも手を加えやすく、環境を整えることで転倒の要因を減らすことが可能です。



そこで当施設では、昨年より「据え置き式手すり」と「衝撃吸収マット(従来使用していた物より滑りにくく、動きを妨げにくい)」を導入し、転倒・骨折しにくい環境づくりに取り組み始めました。多職種で情報を共有しながら、使用者を選定して使用した結果、転倒件数の減少が見られるようになりました。今後も多職種で協力しつつ、ご利用者が少しでも安全に過ごすことができる環境づくりに取り組んでいきたいと考えます。



お薬を何で飲んでいますか？

みなさんは、お薬を水またはぬるま湯で飲んでいますか？お茶やジュースという方も意外と多いのではないかでしょうか。飲み物の中にはお薬と相性が悪く、効果に影響するものがあります。代表的なものを一部紹介します。

〈緑茶〉

市販の総合感冒薬、抗アレルギー薬などには疲労感を回復するためにカフェインが配合されているお薬もあります。緑茶にもカフェインが含まれています。一緒に飲むとカフェインの過剰な摂取となり、不眠やふるえ、吐き気が生じる可能性があります。同じくカフェインを多く含むコーヒーや紅茶も注意が必要です。(当院で入院中に提供されるお茶はお薬と一緒に飲んでも問題ありません。)



〈グレープフルーツジュース〉

血圧降下薬、脂質異常症治療薬などの効果を強めてしまうことがあります。グレープフルーツの成分がお薬の分解を妨げ、体内に分解されないままのお薬が増えてしまうからです。



〈アルコール〉

睡眠薬、精神安定剤の効果を強めてしまうことがあります。お薬とアルコールの作用が重なり、過剰に中枢神経が抑制されます。その結果、意識障害や昏睡状態に陥ってしまう可能性があるため、大変危険です。



薬剤師 榊 恵理奈



〈牛乳〉

骨粗鬆症治療薬や抗生物質、便秘薬の効果を弱めてしまうことがあります。牛乳などの乳製品にはカルシウムが多く含まれています。お薬とカルシウムが結合して体内への吸収が低下します。

この他にも飲み合わせに注意が必要なお薬はたくさんあります。やはり、お薬は水またはぬるま湯で飲むように心がけましょう。お薬の飲み方に悩みのある方は薬剤師にご相談ください。



社会医療法人 畿内会

岡波看護専門学校



専任教員 西岡 美穂子

本校は、明治39年創立という歴史と伝統を誇る看護学校です。1学年20名という少人数制でアットホームな雰囲気が特徴です。また、シミュレーター等の豊富な教材やプロフェッショナルな講師陣による、質の高い看護教育を実践し、伊賀地域の医療に貢献できる看護師育成に力を入れています。奨学金制度が充実しており、さらに令和2年度より開始となった「高等教育の修学支援新制度」の対象校でもあり、経済的に安心して学習に専念できます。ぜひ、本校で「楽しい看護のはじまり」を感じて共に学びましょう！

学校見学は随時受け付けております。ホームページやYouTubeおかなみチャンネルを是非ご覧ください！

※「高等教育の修学支援新制度」の詳細は文部科学省の特設サイトをご覧ください。



1年生☆継続式
ナイチンゲールから受け継ぐ灯に
看護の思いを込めて



2年生☆ケースレポート発表会
「楽しい看護のはじまり」を実感！
看護学実習の学びをまとめました！



3年生☆統合実習
看護学実習の集大成！
夜間実習を経験し24時間の看護を学ぶ！